

Wagbyインストール方法

無償でおためしできますので是非ご利用ください



Wagbyインストールの前提

WagbyはWindows・IOS・Linux・Solaris等端末にインストールし開発可能です

前提として端末にJavaJDKのインストールが必要です

WagbyでサポートしているJavaについて

AdoptOpenJDK (IBM)

Zulu (Microsoft)

Amazon Corretto (AWS)

Oracle Java

Open JDK

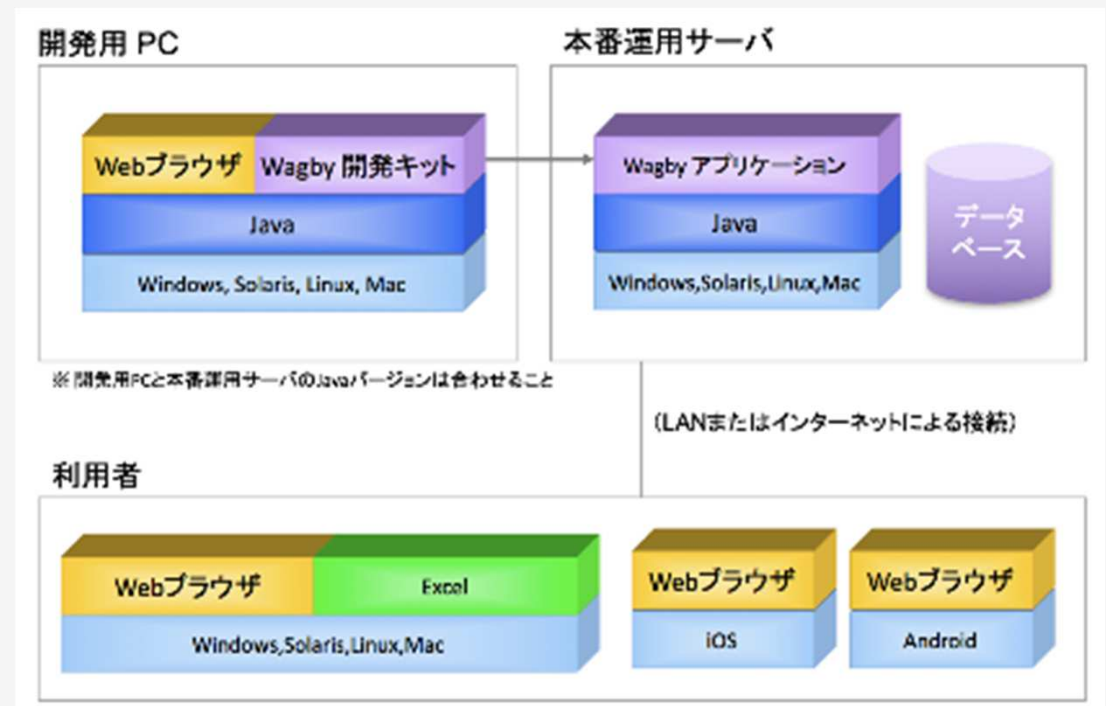
RedHat Java

Wagby はJava 8 以上どのバージョンでも動作いたします

Wagby Designer対応ブラウザについて

WagbyDesignerでの開発に限ってブラウザはGoogleChrome限定となっておりますので、開発端末にはChromeがインストールされていることが前提となります

尚、開発されたWebアプリケーションについてはChrome以外、一般のブラウザ（スマホ、Pad等含む）に対応しています

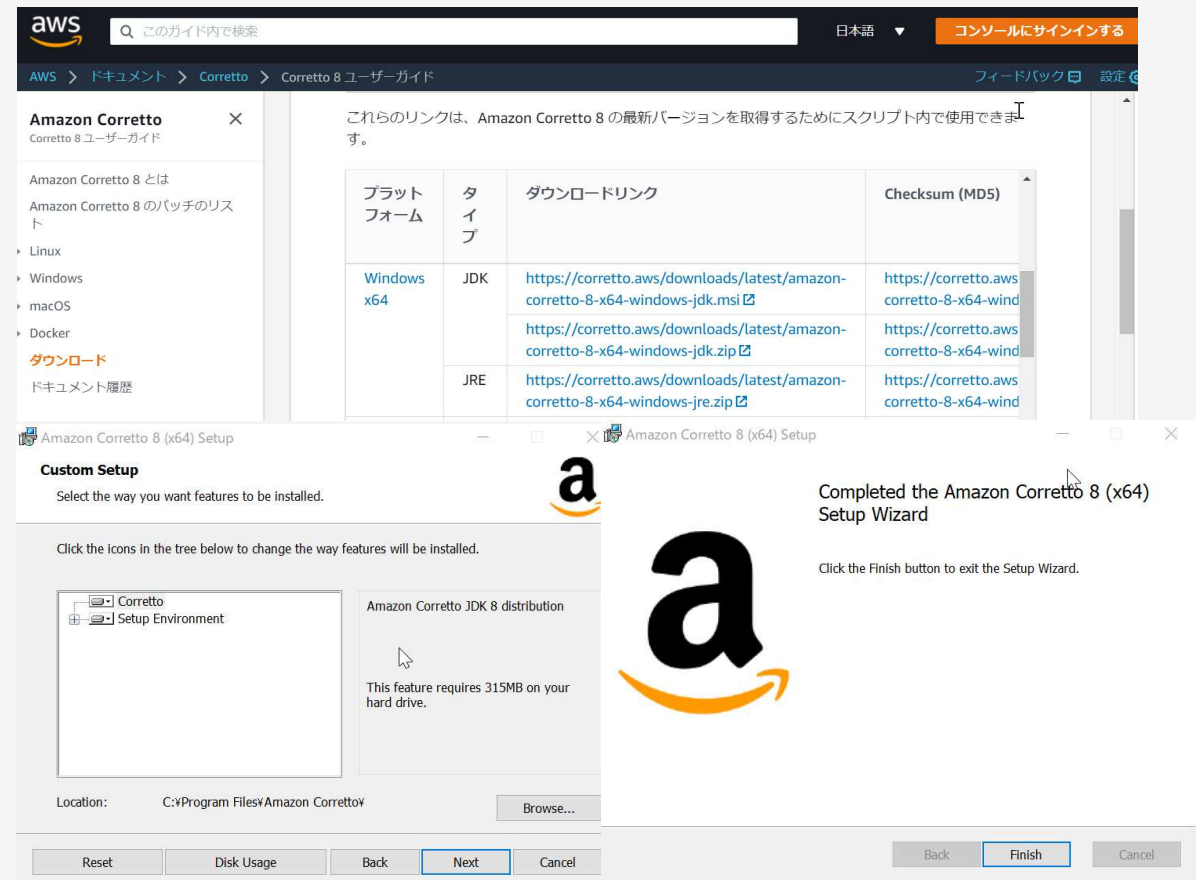


※開発用PCに限って、ブラウザはGoogleChromeがインストールされていることが前提となります

Java・JDKインストール

説明: Amazon Corretto (AWS) をインストール

- 1 Amazon Corretto 8 のダウンロードページ
https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/corretto/latest/corretto-8-ug/downloads-list.html
- 2 タイプJDKのインストーラーをダウンロード
- 3 インストーラの実行
インストールパラメータを修正する必要はありません（デフォルトインストール）
- 4 インストール終了

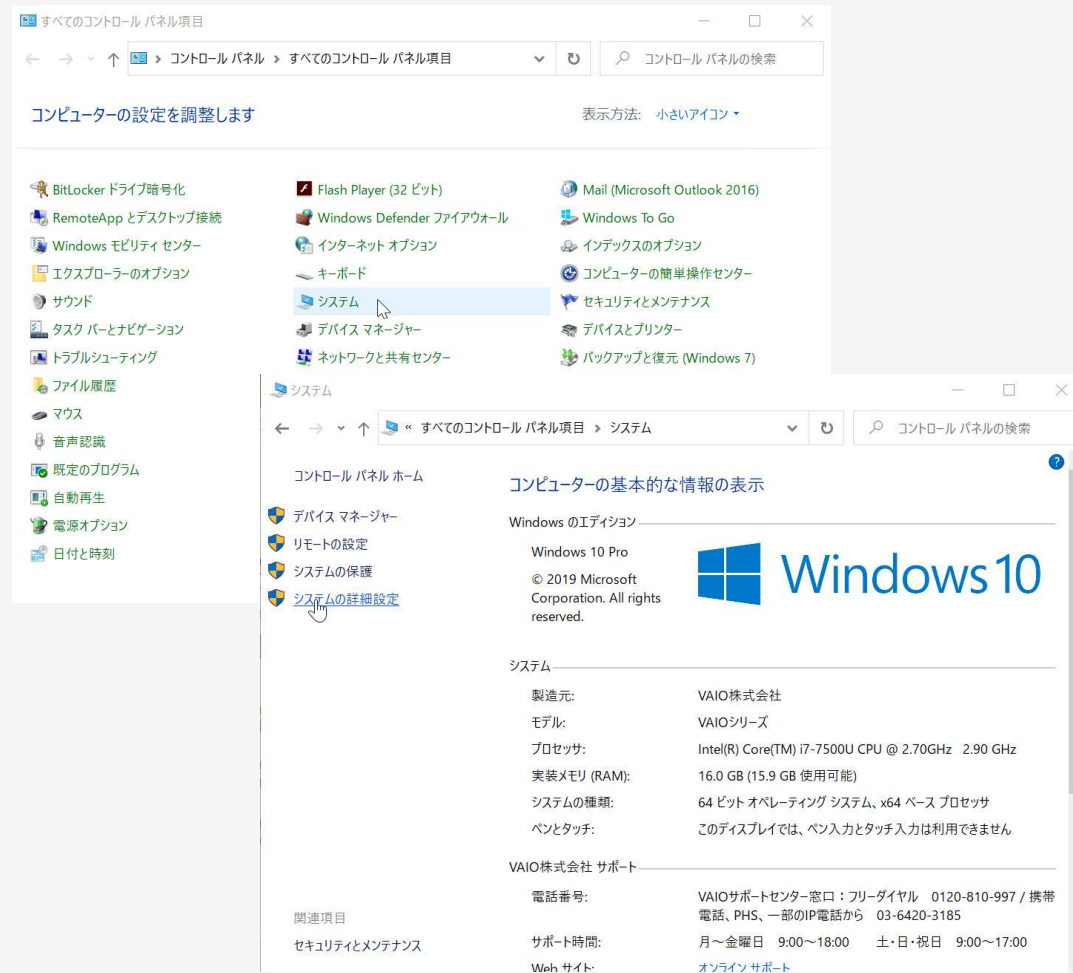


2つの環境変数設定

説明: JDK をWagby から使用可能な状態にするために、2つの環境変数を設定します

1 コントロールパネル（Windows）から、「システム」を選択します

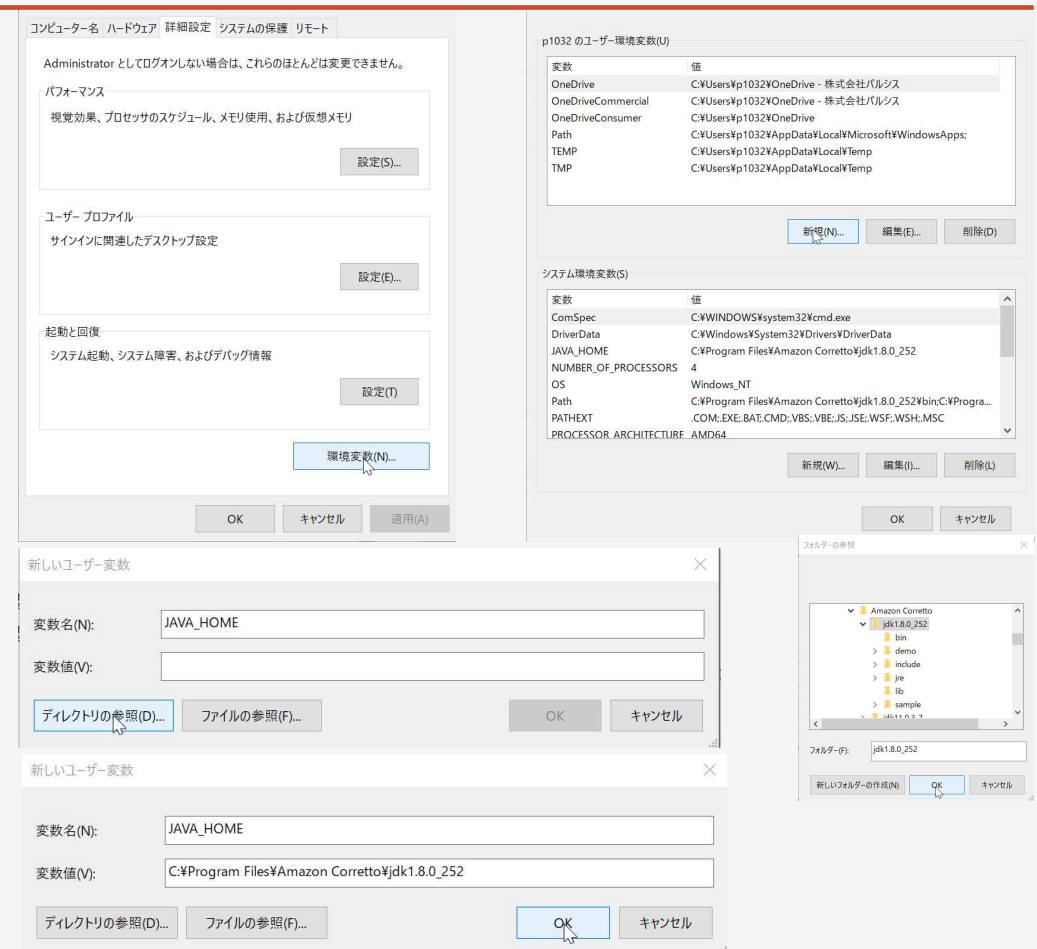
2 「システムの詳細設定」を選択します



2つの環境変数設定

説明: JDK をWagby から使用可能な状態にするために、2つの環境変数を設定します

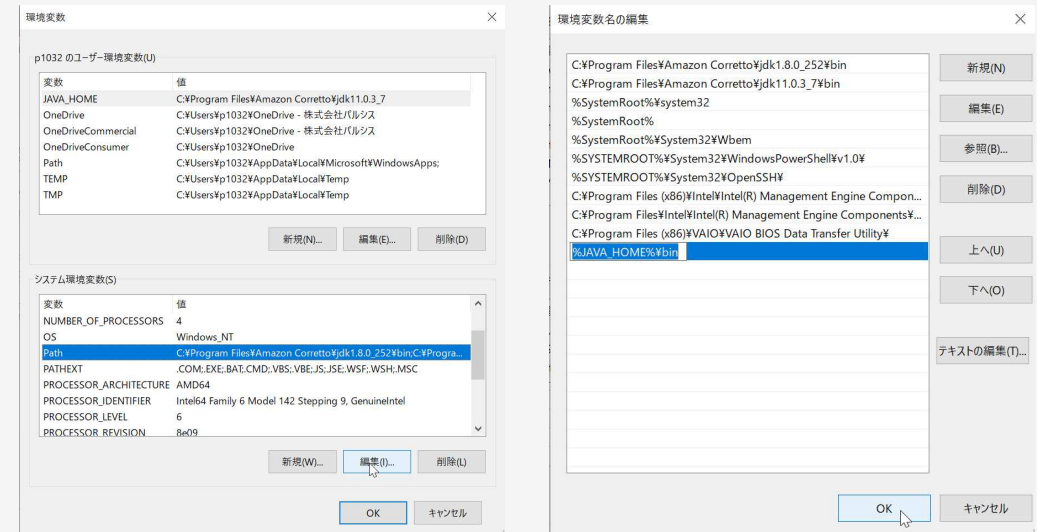
- 1 「環境変数」ボタンをクリックします
- 2 「ユーザー環境変数」の「新規」ボタンをクリックします。
- 3 表示されたウィンドウに、以下のとおり値を設定し「OK」ボタンをクリックします
変数名 : JAVA_HOME
変数値 : C:¥Program Files¥Java¥[インストールしたJava]



2つの環境変数設定

説明: JDK をWagby から使用可能な状態にするために、2つの環境変数を設定します

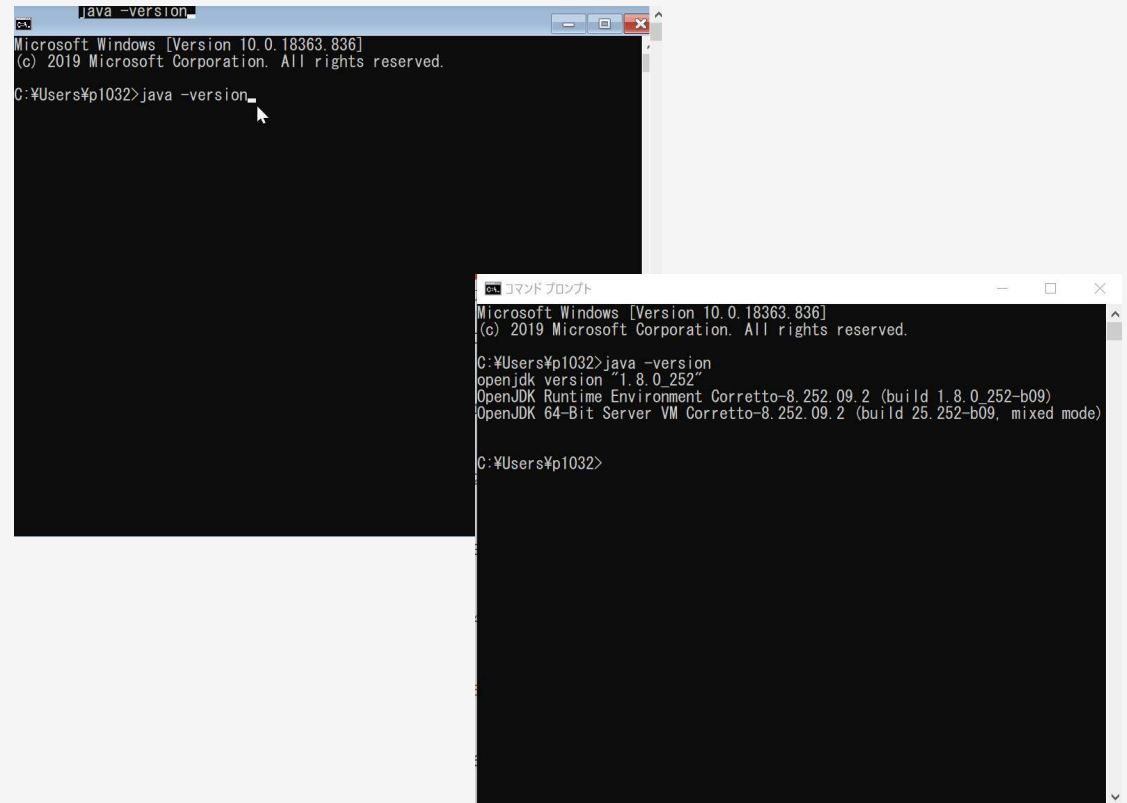
- 1 つづいて、「システム環境変数」から「Path」を選択し、「編集」ボタンをクリックします
- 2 「変数値」に記述されている文字列の最後に
%JAVA_HOME%¥bin
と入力して、「OK」ボタンをクリックします
- 3 以上の設定が完了したら「OK」ボタンを押下して、環境変数の設定に関するウィンドウをすべて閉じます



動作確認

説明:インストールした Java の設定が正しく完了したかの動作確認を行います

- 1 「コマンド プロンプト」を開きます
- 2 javaコマンドの動作を確認します
次のように入力します
`java -version`
- 3 右図のように、javaバージョン情報が表示されることを確認して下さい



```
java -version
Microsoft Windows [Version 10.0.18363.836]
(c) 2019 Microsoft Corporation. All rights reserved.
C:\Users\Yp1032>java -version

C:\Users\Yp1032>java -version
openjdk version "1.8.0_252"
OpenJDK Runtime Environment Corretto-8.252.09.2 (build 1.8.0_252-b09)
OpenJDK 64-Bit Server VM Corretto-8.252.09.2 (build 25.252-b09, mixed mode)

C:\Users\Yp1032>
```

動作確認

説明:インストールした Java の設定が正しく完了したかの動作確認を行います

1 続いて javac コマンドの動作を確認します。次のように入力します
"%JAVA_HOME%\bin\javac -version

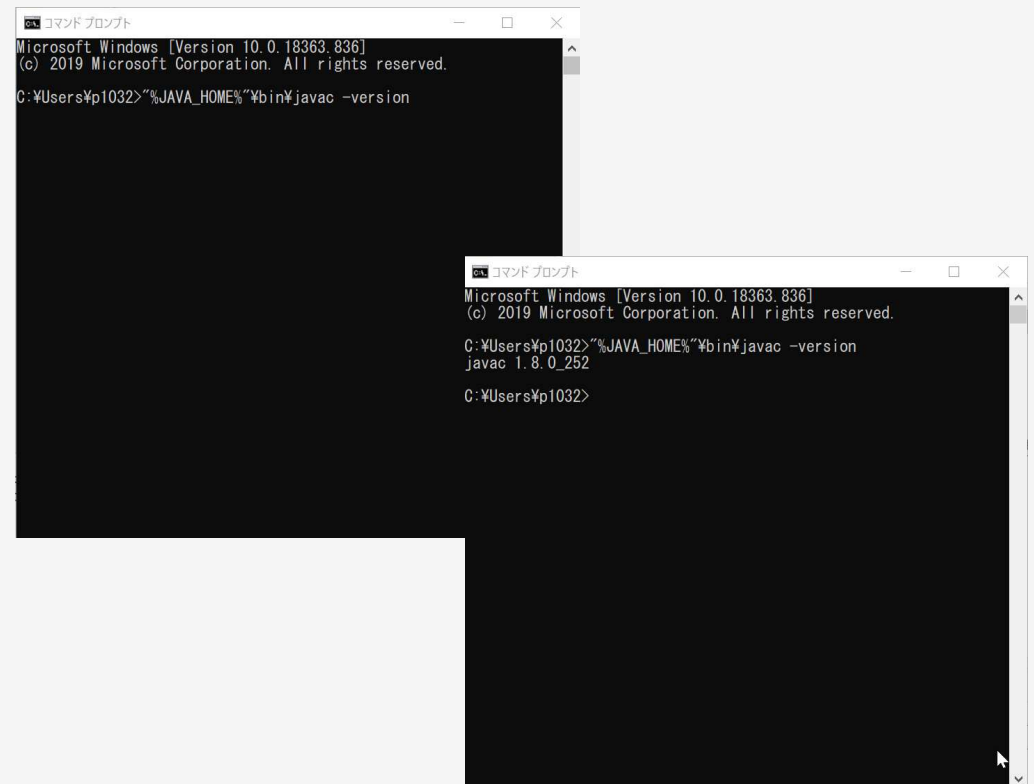
2 右図のようにバージョン情報が表示されることを確認して下さい

※ 以上で動作確認は終了です

エラーメッセージが表示された場合、環境変数 Path または
JAVA_HOME の指定に誤りがあります

スペルミス等がないか？いま一度、ご確認ください

環境変数を変更した場合は、一度コマンドプロンプトの画面を閉じ、再度
コマンドプロンプトを開くところからテストをしてください



```
Microsoft Windows [Version 10.0.18363.836]
(c) 2019 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\p1032>%JAVA_HOME%\bin\javac -version

C:\Users\p1032>%JAVA_HOME%\bin\javac -version
javac 1.8.0_252

C:\Users\p1032>
```


Wagbyダウンロード（無償）

Wagbyは無償でダウンロード、お試しください
右記、サイトよりダウンロードできます

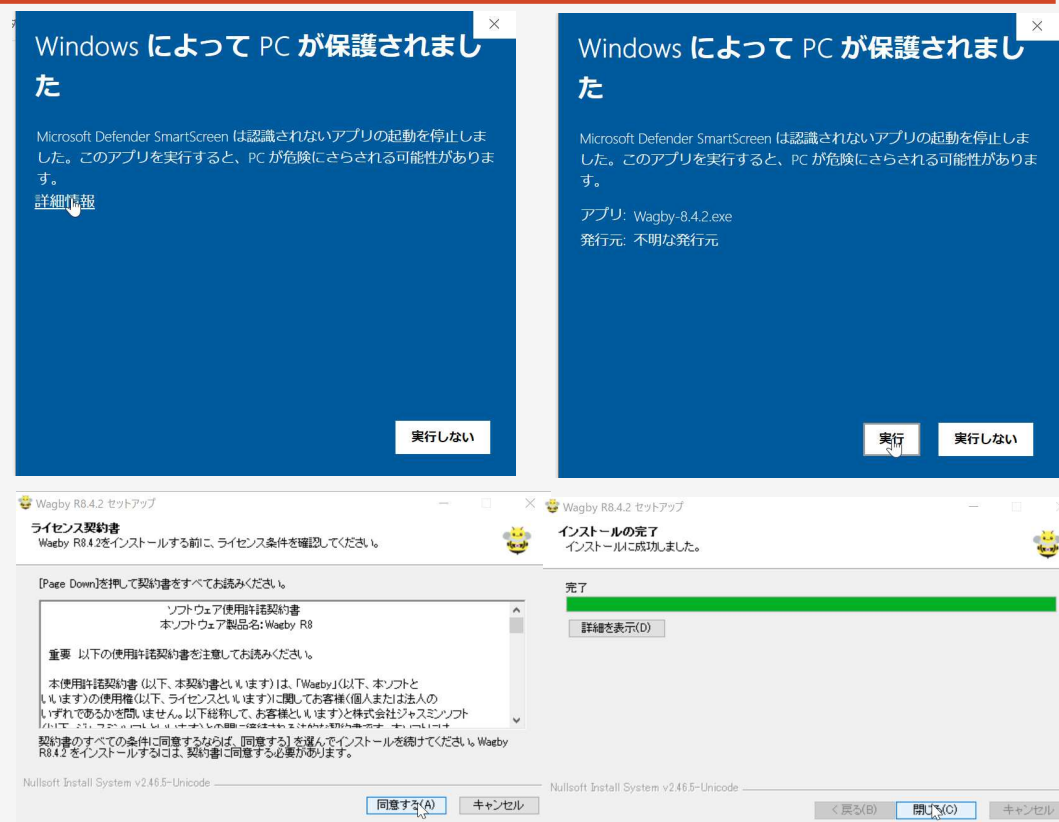
The screenshot shows the Wagby website's download page. The header includes the Wagby logo, navigation links (Home, Products, Downloads, Pricing/Purchase, Support, Contact), and a search bar. A sidebar on the left lists various download links: Wagby R8 Latest, Wagby R8 Stable, Wagby Installation, Wagby Version Upgrade, Wagby Reinstallation, Wagby R8 Backup/Restore, Wagby R7, and Wagby R6 (for purchase). The main content area is titled 'ダウンロード' (Download) and states 'Wagbyをダウンロードできます。' (You can download Wagby). It highlights 'Wagby R8 最新版' (Wagby R8 Latest Version). A note mentions that the latest version (R8.4.2) was released on March 11, 2020, and provides a link for details. It also states that users upgrading from previous versions should clear their browser cache. A yellow box contains a note about the R8.4.2 update, mentioning that it includes content from the R8.4.2 patch and that users should use the R8.4.2 patch to avoid issues, with a link to the 'R8.4.2 公認後に修正された内容を含んだパッチ' (Patch containing content corrected after the official release of R8.4.2). Below this, it states that Wagby offers a 'Trial Kit' for free download. A list of trial kit features is provided: no registration or payment required, two account licenses included (cannot be added), full functionality available, up to 50 models (subject to change), up to 1,000 data items (initial data included), a 1-year trial period, and no connection to an external database. At the bottom, it says 'このトライアルキットを使って、ご利用のPCにWagbyをインストールすること、およびチュートリアルを実践することができます。' (Using this trial kit, you can install Wagby on your PC and practice the tutorial). Two buttons are shown: 'Windows インストーラ形式 (.exe)' (Windows Installer format (.exe)) and 'Zip形式 (.zip)' (Zip format (.zip)).

<https://wagby.com/download.html>

Wagbyインストール

説明: Wagbyのインストールを実行します

- 1 ダウンロードしたインストーラー（exe）を実行します
 - 2 インストーラの指示通りにインストールを行ってください
パラメータ等修正の必要はありません
 - 3 Wagby のインストール作業は完了です
Wagbyによるアプリケーションの開発は、WagbyDesinger というリポジトリ（設計情報）デザインツールを使って行います
- ※ 何らかのウイルス対策ソフトをお使いの場合、設定で「除外するファイル（フォルダ）」として、Wagbyをインストールしたフォルダを指定していただくとWagby のビルド動作が安定します



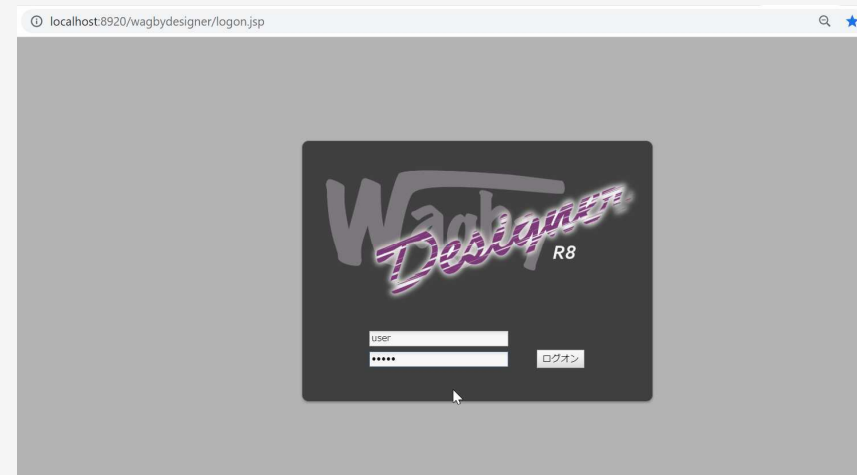
WagbyDesigner起動

説明:WagbyDesignerを立ち上げます

- 1 Desktop上の起動アイコンをダブルクリックします
- 2 コンソールが起動し、さまざまなメッセージが表示されます。メッセージの最後に
情報: Server startup in XXX ms
という文字が出力されます。
これでWagbyDesignerの起動は完了です
- 3 Webブラウザ（Google Chrome）を起動し、アドレスバーに次のように入力します
<http://localhost:8920/wagbydesigner/wagbydesigner.html>
- 4 ログオン画面が表示されます。
ユーザID「user」パスワードに「wagby」と入力し、「ログオン」ボタンをクリックしてください



```
Iomcat
te short repository key printlayout_template11_link_showcondition
2020-05-14 11:49:33 [WARN jp.jasminesoft.jfc.tools.repository.service.RepositoryKeyManagerBase addRepositoryKey] duplica
te short repository key printlayout_template11_link_showcondition
2020-05-14 11:49:33 [WARN jp.jasminesoft.jfc.tools.repository.service.RepositoryKeyManagerBase addRepositoryKey] duplica
te short repository key printlayout_template11_link_showcondition
2020-05-14 11:49:33 [WARN jp.jasminesoft.jfc.tools.repository.service.RepositoryKeyManagerBase addRepositoryKey] duplica
te short repository key presentation_displayitem_readonly_2
2020-05-14 11:49:33 [WARN jp.jasminesoft.jfc.tools.repository.service.RepositoryKeyManagerBase addRepositoryKey] duplica
te short repository key presentation_displayitem_labelwidthForSearch
2020-05-14 11:49:33 [WARN jp.jasminesoft.jfc.tools.repository.service.RepositoryKeyManagerBase addRepositoryKey] duplica
te short repository key presentation_displayitem_labelheightForSearch
2020-05-14 11:49:33 [WARN jp.jasminesoft.jfc.tools.repository.service.RepositoryKeyManagerBase addRepositoryKey] duplica
te short repository key presentation_displayitem_labelalignForSearch
2020-05-14 11:49:33 [WARN jp.jasminesoft.jfc.tools.repository.service.RepositoryKeyManagerBase addRepositoryKey] duplica
te short repository key presentation_displayitem_labelvalignForSearch
2020-05-14 11:49:33 [WARN jp.jasminesoft.jfc.tools.repository.service.RepositoryKeyManagerBase addRepositoryKey] duplica
te short repository key presentation_displayitem_labelnowrapForSearch
2020-05-14 11:49:33 [INFO org.springframework.scheduling.concurrent.ThreadPoolTaskExecutor initialize] Initializing Exec
utorService 'asyncTaskExecutor'
2020-05-14 11:49:34 [INFO org.springframework.jmx.export.annotation.AnnotationMBeanExporter afterSingletonsInstantiated]
Registering beans for JMX exposure on startup
2020-05-14 11:49:34 [INFO jp.jasminesoft.jfc.tools.WagbyDesignerApplication logStarted] Started WagbyDesignerApplication
in 15.079 seconds (JVM running for 25.362)
14-May-2020 11:49:34.794 情報 [localhost-startStop-1] org.apache.catalina.startup.HostConfig.deployDirectory ディレクトリ
[C:\Users\p1032\Desktop\Wagby-8.4.2\wagbydesigner\webapps\wagbydesigner] の Web アプリケーションの配置は [22,922] ms
で完了しました。
14-May-2020 11:49:34.806 情報 [main] org.apache.coyote.AbstractProtocol.start プロトコルハンドラー ["http-nio-8920"] を
開始しました。
14-May-2020 11:49:34.821 情報 [main] org.apache.catalina.startup.Catalina.start Server startup in 23048 ms
```



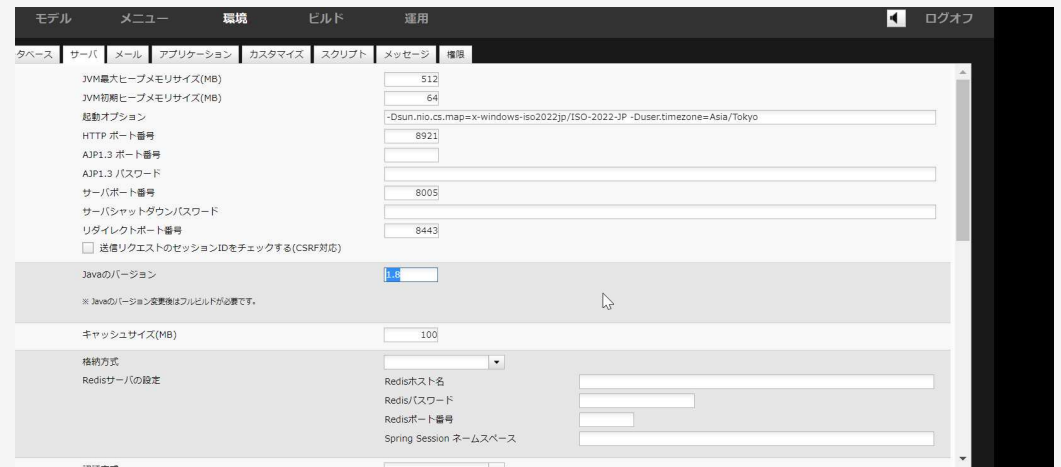
WagbyDesigner起動

説明:WagbyDesignerを立ち上げます

5 メニュー画面が表示されます



6 「環境」>「サーバ」タブを選択して、
ビルド Javaのバージョンが8>「1.8」でない場合に変更します。
※Java9>「9」Java10>「10」Java11>「11」Java12>「12」



Wagbyアプリケーション起動

説明:ビルドを行いWagbyアプリケーションを立ち上げます

1 メニューから「ビルド」を選択します



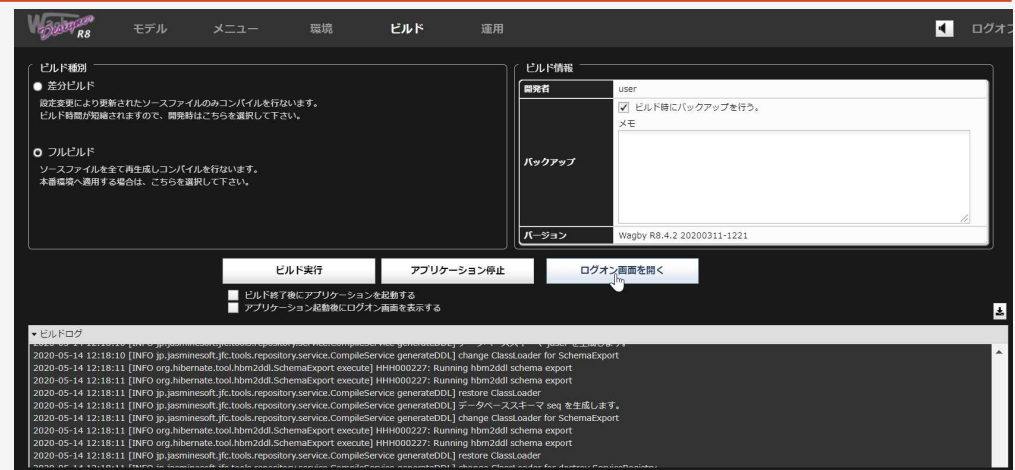
2 ビルドが正常に終了したら「アプリケーション起動」を実行します



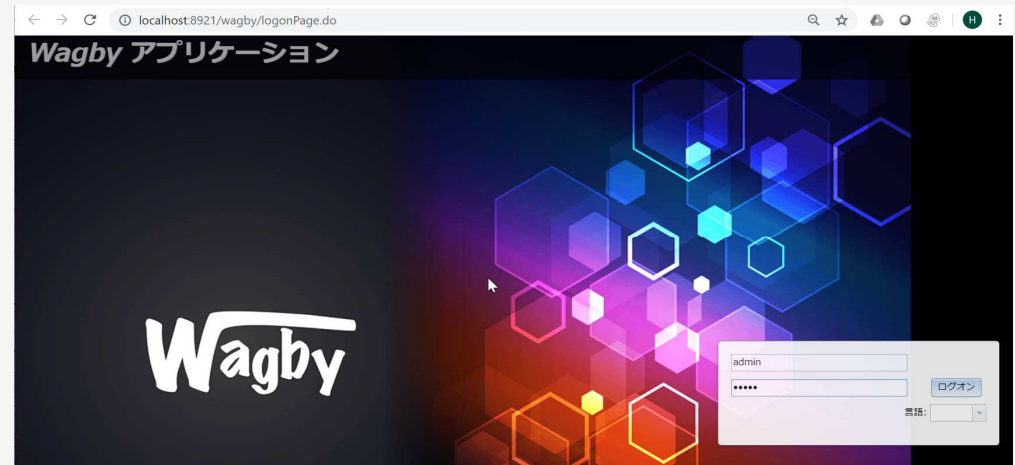
Wagbyアプリケーション起動

説明:ビルドを行いWagbyアプリケーションを立ち上げます

- 3 「アプリケーション起動」ボタンが「アプリケーション停止」に変わりましたら「ログオン画面を開く」を実行します



- 4 Wagby アプリケーションのログイン画面が表示されますのでユーザーID「admin」パスワード「wagby」でログオンします

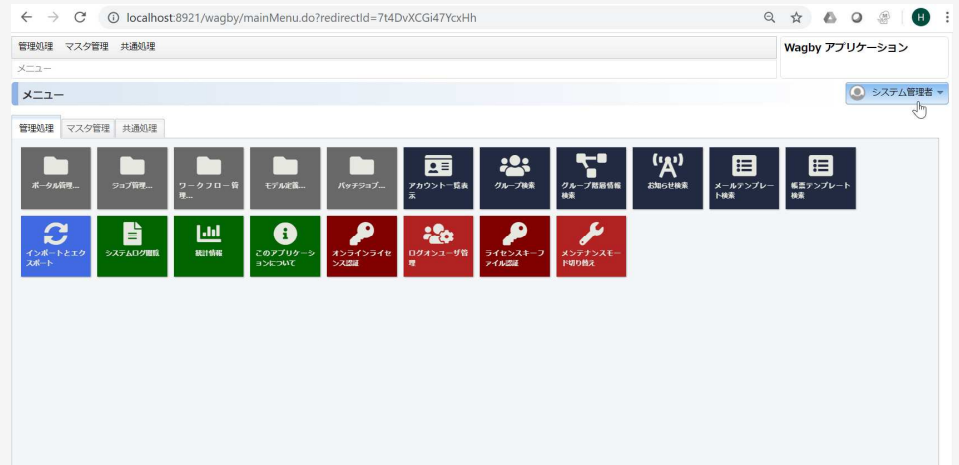
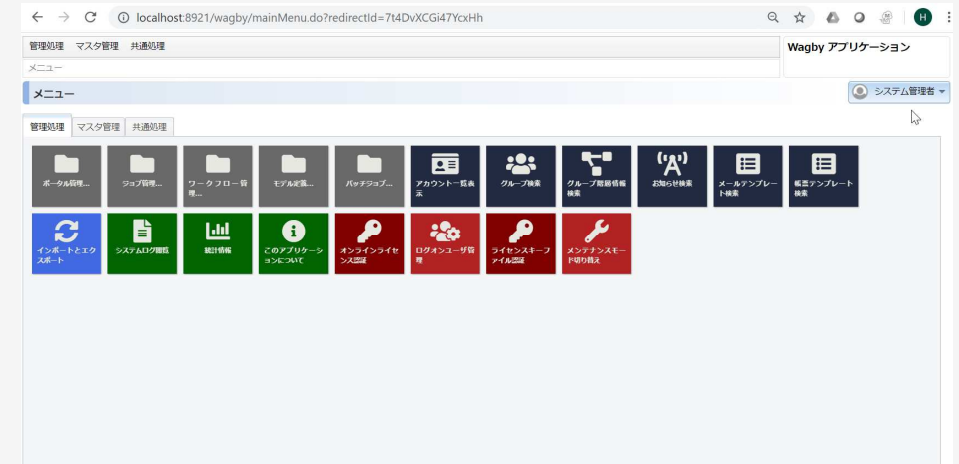


Wagbyアプリケーション起動

説明:ビルドを行いWagbyアプリケーションを立ち上げます

- 5 メニュー画面が表示されます
ここに表示されているのはWagbyがもともと持つる非機能要件のメニューになります ログオンアカウントの管理やワークフロー機能などがすでに備わっておりユーザーが一から開発しなくてもご利用いただけるようになっています

- 6 右上部のシステム管理者ボタンからログオフを実行します



Wagbyアプリケーション停止

説明:Wagbyアプリケーションを停止します

- Designerから「アプリケーション停止」を実行します
アプリケーションサーバーが停止します



- 右上部のボタンからログオフを実行します



WagbyDesigner停止

説明:WagbyDesignerを停止します

9

Desktop上の停止アイコンをダブルクリックします
Designer用アプリケーションサーバが停止します



Wagbyインストールからアプリケーション起動・停止までの一連の手順をご説明しました

Wagbyについてさらに知りたい場合

Wagby入門セミナー[ハンズオン]を受講いただく

<https://www.fastwagbycloud.com/seminar/>

チュートリアルを実行いただく

<https://wagby.com/tutorial8/index.html#devcustomer>

その他、お気軽にお問い合わせください

<https://entryform.palsys.co.jp/recepts/wagby>

